

SRIファンドは 本当にエコ なのか？

国際青年環境NGO・A SEED JAPANから投資信託業界への提言

はじめに

環境や社会に配慮した企業や、環境ビジネスに積極的に取り組む企業を

主な投資先として組入れている投資信託

「社会的責任投資(SRI)ファンド」が急増しています。

しかし、その組入れ先を見てみると

本当に環境や社会に配慮しているのか

首を傾げたくなるような企業も少なくありません。

そこで、国際青年環境NGO・A SEED JAPANのエコ貯金プロジェクトでは

現在、日本で販売されているSRIファンドのうち

国内株式を主な投資先としている16のファンドを対象に

これらのSRIファンドが、環境面・社会面・経済面での

ネガティブな要素を持つ企業を

どれだけ除外して運用しているかを調査し

SRIファンドの課題を明確化しました。

調査方法と対象

調査方法:以下の各ファンドの直近の目論見書、運用報告書、レポートを元に、組入れ銘柄を調査しました。

運用会社	ファンド名	スクリーニング項目
日興アセットマネジメント	日興エコファンド	環境
損保ジャパンアセットマネジメント	損保ジャパン・リーノオープン「ぶなの森」	環境
興銀第一ライフアセットマネジメント	興銀第一ライフ・エコファンド	環境
UBSグローバルアセットマネジメント	UBS日本株式エコファンド「エコ博士」	環境
三菱UFJ投信	三菱UFJ・エコパートナーズ「みどりの翼」	環境
朝日ライフアセットマネジメント	朝日ライフSRI社会貢献ファンド「あすのはね」	環境、雇用、消費者対応等
三井住友アセットマネジメント	三井住友・エコバランス「海と空」	環境(温暖化)
住信アセットマネジメント	住信SRIジャパンオープン「グッドカンパニー」	環境、社会、経済
大和証券投資信託委託	ダイワSRIファンド	倫理、法令順守
野村アセットマネジメント	野村モーニングスターSRIインデックスオープン	環境、社会、経済
三菱UFJ投信	三菱UFJ・SRIファンド「ファミリーフレンドリー」	雇用
AIG投信投資顧問	AIG・SAIKYO・日本株式CSRファンド「すいれん」	環境、社会、企業統治
AIG投信投資顧問	AIGりそな・日本株式CSRファンド「誠実の杜」	環境、社会、企業統治
損保ジャパンアセットマネジメント	損保ジャパン・SRIオープン	環境、社会、経済
AIG投信投資顧問	AIGひろぎん・日本株式CSRファンド「クラスG」	環境、社会、企業統治
大和証券投資信託委託	ダイワ・エコ・ファンド	環境、経済

※スクリーニングとは、条件を設定して銘柄を選別すること。

SRIファンドの環境面・社会面・経済面のネガティブ要素除外度

環境面



採掘産業

ロシア環境法違反が指摘されているサハリンII石油ガス開発事業には、三井物産、三菱商事が出資。同地域のサハリンIでは伊藤忠商事、丸紅等が出資。また、グルジア環境法を改善して建設したBTCパイプラインには、伊藤忠商事が出資。アスベスト等による環境悪化が懸念されているニューカレドニアのニッケル鉱山開発では、三井物産、住友金属鉱山が出資している。

組入れ状況→上記にあげた商社を除外しているファンドはない。特に三菱商事は16ファンド中、14ファンドが組入れている。住友商事は9、伊藤忠は6、豊田通商は5、三井物産は4ファンドが組入れている。住友金属鉱山を組入れているのは1ファンドのみ。



原生林伐採

タスマニアの原生林伐採では深刻な環境影響が環境NGOから指摘されている。北越製紙、三菱製紙、大王製紙は植林地からの木材チップのみを使用しているが、王子製紙、日本製紙は未だに天然林を一部使用している。

組入れ状況→日本製紙を組入れているファンドは4ファンド。王子製紙を組入れているファンドは3。逆に王子製紙、日本製紙が含まれていないファンドは9ファンドある。



原子力発電

原発トラブル、事故隠し、データ改ざんは、ほぼ業界全体で頻発している。日本の9電力会社のうち、原子力発電施設を持っていないのは沖縄電力のみ。また主要メーカーとしては、三菱重工、三菱電機、日立、東芝などがある。ちなみに1999年に東海村で事故を起こしたJCOは住友系の核燃料加工会社。**組入れ状況**→電力会社を組入れているファンドは7つ。最も組入れ数の多かった電力会社は九州電力で5ファンド。2位は東京電力で4ファンドが組入れている。



ダム・発電所

立ち退きの補償や生活再建が未解決のフィリピンのサンロケダムでは、丸紅・関西電力が出資。水質汚染等を懸念し住民の反対運動が繰り返されているタイのゲンコイ火力発電所建設には三井物産が出資している。立ち退き・生活再建の不備から日本の裁判所に提訴されているコトバンジャンダム事業では東京電力の子会社が設計を担当した。**組入れ状況**→丸紅を組入れているのは2ファンドのみ。関西電力を組入れているのは、1ファンドのみ。



自然環境

環境アセスメントの不備が指摘されている石垣島での大規模リゾート開発は、大和ハウス工業が推進している。**組入れ状況**→9ファンドが大和ハウス工業を組入れており、これは建築業界としては最多である。



兵器産業

世界の兵器生産企業売上高ランキングによると、三菱重工15位、川崎重工39位、三菱電機52位、石川島播磨57位、東芝76位、日本電気80位、コマツ95位となっている。**組入れ状況**→13ファンドがコマツを組入れている。三菱電機を組入れているファンドは8つ。上記の企業をまったく組入れているファンドは2ファンドのみ。



談合事件

ゼネコン業界は、業界ぐるみで談合が繰り返されている。最近の談合事件としては、新潟市の鹿島、鉄建、東亜建設工業、大成建設。大阪府阪南市発注の汚泥・尿処理施設の談合でハザマと東急建設が関与、和歌山県知事が辞職。福島県発注の木戸ダムの談合事件では前田建設工業が、同県発注の県北流域下水道工事をめぐる談合事件で東急建設が関与。**組入れ状況**→鹿島を組入れているファンドは8つで、これはゼネコン最多である。大林組は4ファンド、前田建設と大成建設は3ファンドが組入れている。



リコール隠し・偽装

2000年、雪印乳業が集団食中毒・牛肉偽装を起こして解散。最近では三菱自動車、三菱ふそう、トヨタ自動車、パロマのリコール隠しなどが発覚。**組入れ状況**→三菱自動車、パロマは調査対象の中にはない。トヨタ自動車は上記「労働問題」を参照。

社会面



労働問題

トヨタ自動車の現地法人フィリピン・トヨタでは、会社側が労働組合結成を否認し団体交渉を拒否。組合員を大量解雇した。最高裁判決で組合が勝訴し、ILO*が勧告を出しているが、会社側は未だに団体交渉に応じていないと指摘されている。**組入れ状況**→14ファンドがトヨタ自動車を組入れている。トヨタ自動車を組入れているのは2ファンドのみ。



消費者金融

大手銀行は利息制限法を無視している消費者金融と業務提携し、多額の融資を行っている。三井住友グループはプロミス、アットローンに出資、三菱UFJグループはアコムに出資。三井住友銀行の支店内にはプロミスの契約機がある。**組入れ状況**→消費者金融業者を組入れているのは1ファンドのみで、プロミスを組入れている。三井住友とみずほが13ファンド、三菱UFJは9ファンドが組入れている。3つの銀行をどれも組入れているファンドは2つのみ。



保険金不払い

最近では、大手損害保険6社で、25万件以上の不払いが発覚している。**組入れ状況**→損保会社を組み込んでいないファンドは5つ。組入れ数最多はミレアグループと損保ジャパンで7ファンド。2位は三井住友海上で6ファンド。

経済面

*ILOとは、労働者社会問題を担当する国連の専門機関。

上記の各問題・事例はあくまで一例であり、包括的な問題・事例抽出を行っているわけではありません。

各SRIファンドにおける上記組入れ銘柄一覧

ファンド名	大林組	鹿島	前田建設工業	清水建設	大成建設	積水ハウス	大和ハウス工業	王子製紙	日本製紙	北越製紙	レンゴー	住友金属鉱山	コマツ	三菱重工業	石川島播磨重工業	三菱電機	日立	東芝	日本電気	トヨタ自動車	三菱商事	住友商事	三井物産	伊藤忠商事	豊田通商	丸紅	三菱UFJ・FG	三井住友FG	みずほFG	プロミス	三井住友海上	損保ジャパン	ミレアHG	あいおい損保	日本興亜損保	T&D損保	東北電力	九州電力	関西電力	東京電力	中部電力	中国電力	四国電力					
日興エコファンド	●	●			●				●	●		●		●						●			●			●	●		●	●																		
損保ジャパン・リーンオープン			●		●															●	●	●		●			●	●																				
興銀第一ライフ・エコファンド		●						●				●		●			●	●	●	●	●		●				●	●		●	●																	
UBS日本株式エコファンド				●		●	●	●				●				●				●	●	●	●	●			●	●	●	●	●																	
三菱UFJ・エコパートナーズ		●													●		●	●	●	●	●	●					●	●			●	●	●															
朝日ライフSRI社会貢献ファンド				●		●	●	●		●		●								●				●						●																		
三井住友・エコバランス		●		●				●				●			●	●	●	●	●	●	●	●				●	●		●																			
住信SRIジャパンオープン	●	●										●							●	●	●	●		●			●	●	●		●																	
ダイワSRIファンド		●				●					●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
野村モーニングスターSR	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
三菱UFJ・SRIファンド	●					●						●			●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
AIG-SAIKYO・日本株式CSRファンド						●						●			●		●		●	●	●	●				●	●	●																				
AIGりそな・日本株式CSRファンド						●						●					●		●	●	●	●				●	●	●		●																		
損保ジャパン・SRIオープン			●			●		●												●	●																											
AIGひろぎん・日本株式CSRファンド						●						●			●		●		●	●	●	●				●	●	●																				
ダイワ・エコ・ファンド		●										●		●	●				●	●				●			●	●	●																			

提言

このように、多くのSRIファンドが、環境面・社会面・経済面でのネガティブな側面を持つ企業を除外対象としていません。SRIファンドが市民から信頼され、経済的リターンと社会的リターンを求める個人投資家のニーズに応えるためには、SRIファンドに組入れを行う際に環境や社会面でのポジティブな側面だけを評価するのではなくネガティブな側面を除外していく必要があります。

しかし、現状では、ネガティブな要素を持つ企業を除外していることを打ち出しているSRIファンドはありません。ただ、原生林伐採、原子力発電、兵器製造など特定の問題に限ればネガティブな要素を持つ企業を除外した運用(ネガティブスクリーニング)は現実に行われています。一方、多くのSRIファンドで組入れられている企業(三菱商事、大和ハウス、コマツ、トヨタ自動車など)にも、ネガティブな要素は多数あります。

したがって、A SEED JAPANは、SRIファンドを開発・運用する業界各社に対し、以下の点を提言します。

- 1.各SRIファンドは、どのような企業を組入れ、どのような企業を組入れないかという現状のスクリーニング基準を明確にするべきです。
- 2.さらに、各SRIファンドは、独自のネガティブスクリーニング基準を策定しネガティブな要素を持つ企業を運用対象から除外するべきです。